

【記載例】

農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書

令和〇年〇月〇日

(あて先) 笠松町農業委員会長

譲受人 氏名 笠松 太郎

譲渡人 氏名 司 一郎

下記によって転用のため農地(採草放牧地)の権利を「設定」、移転したいので、農地法第5条第1項第6号の規定によって届け出ます。

記

1 当事者の氏名等	当事者の別	氏 名			住 所				
	譲受人	笠松 太郎			笠松町司町1番地				
	譲渡人	司 一郎			笠松町司町2番地				
2 土地の所在等	土地の所在	地番	地 目		面積 m ²	土地所有者		耕作者	
			登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
	円城寺字〇〇	1番1 以 下	田 余	田 余	483 白	司 一郎 笠松町司町2番地		同 左	
計		483 m ²		(田 483 m ² 、畑		m ²)			
3 権利を設定、移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別		権利の設定・移転の時期		権利の存続期間		その他	
	所有権	設定・移転		受理あり次第		永久			
4 転用計画	転用の目的	自己用住宅							
	転用の時期	工事着工時期	受理あり次第		工事完了時期	着工後6ヶ月			
	転用の目的に係る事業又は施設の概要	木造瓦葺二階建 居宅 1棟 建築面積 115.5 m ² 建ぺい率 23.91%							
5 転用することによって生ずる附近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	申請地の東側は道路、南側は雑種地、西側は水路、北側は田(譲渡人所有)となっている。 生活雑排水は東側下水に、雨水は東側道路側溝に排水する。 申請地北側及び西側にはコンクリート現場打ち擁壁を設け、農地及び水路への土砂の流出を防止する。 なお、工事施工にあたっては周辺農地に被害を及ぼさぬように注意して行い、被害が発生した場合には申請者の責任において補償する。								

(記載要領)

- 法人である場合は、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、それぞれ記載してください。
- 譲渡人が2人以上である場合には、届出書の差出人は「譲受人何某」、及び「譲渡人何某外何名」とし、届出書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請できるものとします。この場合の別紙の様式は、次の別紙1及び2のとおりとします。
- 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類の、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は配水施設等について具体的に記入してください。

(別紙1) 届出書の1の欄 当事者の住所等

当事者の別	氏名	捺印	住所
譲受人			
譲渡人			

(別紙2) 届出書の2の欄 届け出ようとする土地の所在等

譲渡人の氏名	所在	地番	地目		面積 (㎡)	土地所有者		耕作者	
			登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
計 筆 ㎡ (田 ㎡、畑 ㎡、採草放牧地 ㎡)									

(記載要領) 本表は、(別紙1)の譲渡人の順に名寄せして記載してください。